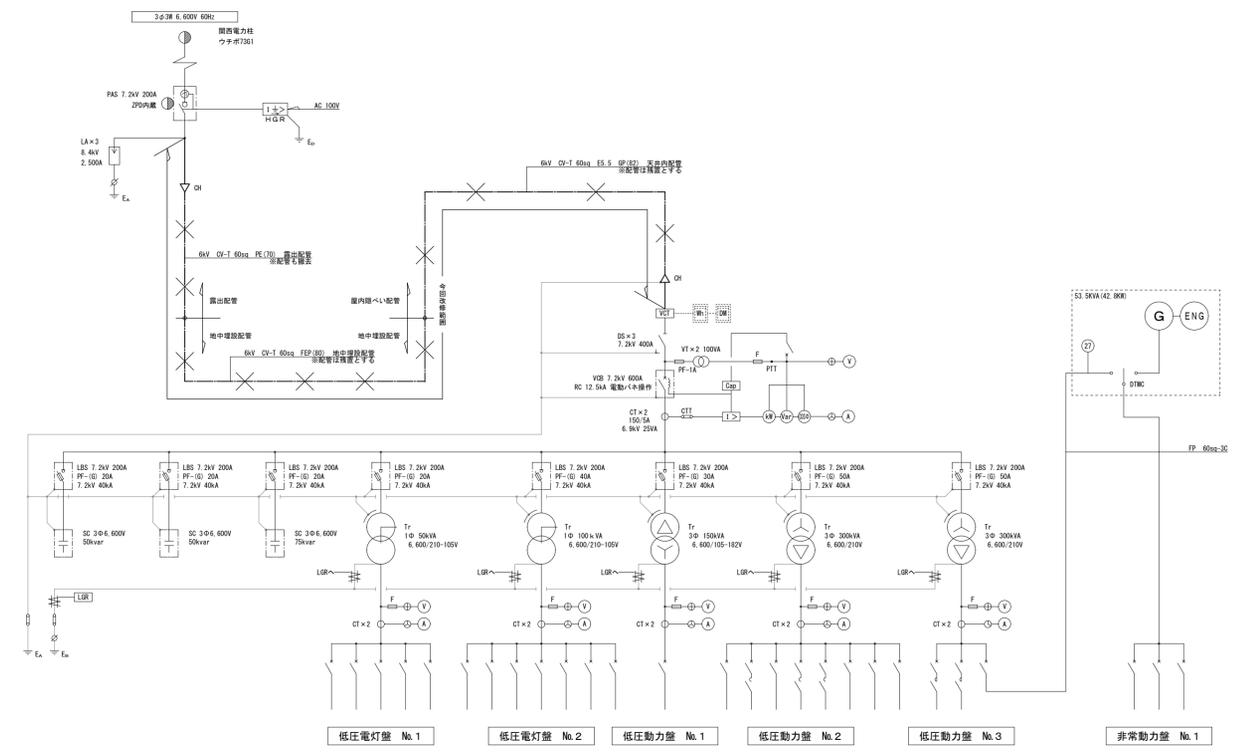
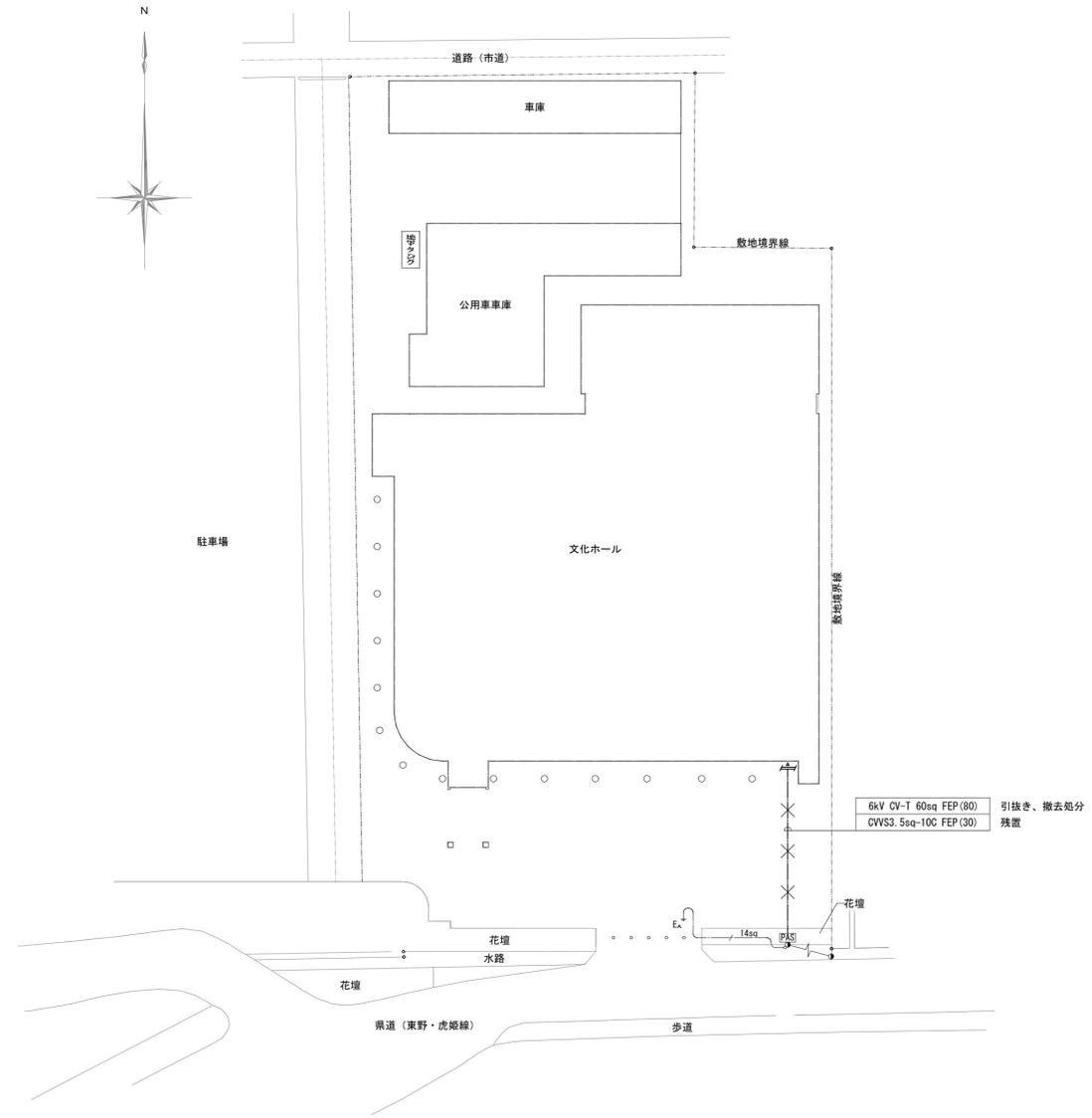


浅井文化ホール高圧受電ケーブル改修工事 設計図		令和 6 年 10 月																															
I 工 事 概 要	工事場所	長浜市 内保町																															
	工事期間	契約締結日の翌日から 180 日間																															
	建物概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>竣工年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>浅井文化ホール</td> <td>RC</td> <td>3F</td> <td>平成8年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		No.	建物名称	構造	階数	竣工年度	備考	1	浅井文化ホール	RC	3F	平成8年度		2						3						4					
	No.	建物名称	構造	階数	竣工年度	備考																											
1	浅井文化ホール	RC	3F	平成8年度																													
2																																	
3																																	
4																																	
概要説明	<ul style="list-style-type: none"> 高圧受電ケーブルの取替 																																
特記事項																																	
II 設 備 工 事 仕 様	1. 標準仕様	<p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁審判部制定「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下「改修仕様」という。）、「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」による。</p> <p>また、工事監理については国土交通大臣官庁官庁審判部監修「電気設備工事監理指針（最新版）」を参考とする。</p> <p>施工に際し、施工手引き書である電気設備工事工チェックシートに従う。</p>																															
	2. 特記仕様書の表記	<p>（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と○印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>（3）特記事項に記載の【 】内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>																															
	項目	特記事項																															
	① 施工基準	<p>本工事は、工事請負契約書及び約款を遵守し、質問回答書、現場説明書、本特記仕様書を含む図面、標仕及び改修標仕により完全に施工する。</p> <p>上記相互間に相違のある場合は優先順位は、記載の順序とする。 [1.1.1]</p> <p>本図は工事の大意を示すものであるから、細部等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。その他関係諸法規に基づき完全に施工する。</p>																															
② 工事実績情報の登録 (CORINS)	<p>請負金額が500万円以上の場合は、契約(変更)、完成時それぞれ10日以内に登録すること。 [1.1.4]</p>																																
③ 提出書類	<p>※施工計画書 提出部数 ※1部 [1.2.2]</p> <p>・施工図 提出部数 ※1部 [1.2.3]</p> <p>・完成図 提出部数 ※2部 (A1、A3縮小製本及び電子媒体) [1.8.3]</p> <p>・保安に関する資料 提出部数 ※2部 部 [1.8.4]</p>																																
④ 施工体制	<p>受注者等は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。</p> <p>また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。 [1.3.1]</p>																																
⑤ 技術管理	<p>請負人は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたり共に建築主体工事、電気設備工事、その他関連工事についてその施工者と綿密な連絡を取り全工事に支障なきよう施工する。</p> <p>次に指定する工程、作業は指定の日程に行うこと。 [1.3.3]</p>																																
⑥ 施工条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工程・作業</th> <th>指定日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		工程・作業	指定日時																													
工程・作業	指定日時																																
7 地元説明会	<p>受注者等は、施工に先立ち地元自治会、近隣住人等に工事施工内容の説明を行うこと。 [1.3.5]</p>																																
8 近隣家屋の調査	<p>受注者等は、工事の着手前および完了後、図示部分の近隣家屋調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。</p> <p>また、受注者が自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。 [1.3.5]</p>																																
⑨ 統括安全衛生管理職務者	<p>労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理職務者には、（建築工事 ※電気設備工事 機械設備工事）の受注者等を指名する。 [1.3.5]</p>																																
⑩ 安全対策	<p>各種関係法令に基づき、常に工事の安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努め、施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺の環境保全を図り工事全体の対策を講ずること。 [1.3.5~8]</p> <p>また、施設運営にも担当者と協議を行い支障のないよう努め、</p> <p>工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。 [1.3.9]</p>																																
⑪ 公害対策	<p>受注者等は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承認を受けること。</p> <p>(1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」を遵守し、分別解体及び再資源化等実施すること。</p> <p>(2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。</p> <p>(3) 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法第12条の3によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。 [5.1.1~2]</p>																																
⑬ 発生材の処理等	<p>※構外搬出適切処理 ・指定（ ） [5.1.1~2]</p>																																
14 石綿含有建材の事前調査制度	<p>大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する法令等に基づき実施すること。</p> <p>また、調査結果を石綿事前調査結果報告システム等を使用し報告を行うこと。</p> <p>(1) 調査範囲、既存の石綿含有建材の調査報告書の質等は、下記による。 [5.1.1~2]</p> <p>調査範囲 ・当該施工範囲 ・図示</p> <p>質と書類 ・建設当初図面 ・調査結果</p> <p>分析方法</p> <ul style="list-style-type: none"> JIS に規定されている定性分析方法にて行うこと。 JIS に規定されている定性分析を行った上定量分析を行うこと。 																																
15 技能士	<p>適用工事種別 ・配管施工：1級 ・熱絶縁施工：1級 [1.6.2]</p> <p>・冷凍・空調調和機施工：1級 ・建築鉋金施工</p>																																
16 化学物質の濃度測定	<p>竣工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度をパッシブ法にて測定し、報告すること。</p> <p>また、基準値を満たさない場合は、対策を講じたのち再測定を行うこと。 [1.6.9]</p>																																
17 取扱説明書の作成	<p>竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。 [1.8.4]</p> <p>(部数、詳細については、監督職員の指示による。)</p>																																
⑱ 現場代理人等	<p>イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。</p> <p>ロ 現場代理人は、受注者等との直接的な雇用関係を証するものを「現場代理人等届」に添付すること。</p> <p>また、「現場代理人等変更届」も同様とする。</p> <p>ハ 主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。</p> <p>ニ 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。</p>																																

項目	特記事項				種目	適用	項目	特記事項				種目	適用	項目	特記事項			
19	工事写真	区分	撮影箇所	提出部数	備考	3 電 灯 動 力 幹 線 設 備	工事範囲及び説明	幹線用配管配線設備の新設 一式				14 選 雷 設 備	工事範囲及び説明	突針取付けより接地埋設までの配管配線接地測定を行う。 なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。 JISA201に準じて施工する。				
		着工前、完成	・3 ※6 ・15 ・30	3	同じ位置で撮影すること。			電気方式 分電盤 施工方法 使用電線	○3相3線式210V ●単相3線式210/105V ※図・参考品番による ●ケーブル ●電線管 (OPE OPE OPF ●VE ●FEP) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ○600V-CET									
		工事中		1	必要に応じ撮影すること。				○天井内コロガシ ●電線管 (OPE ●OP ●VE ●FEP ●PF) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ●600V-EEF ※図・参考品番による ※図・参考品番による									
		定期提出	代表的な出来高の部分	1	工事月報用				動力設備までの配管、配線とする。 ○3相3線式210V ○ケーブル ○電線 ○600V EM-OE ○600V EM-IE ○600V EM-CET ○600V VWR									
20	竣工写真	工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック・機械設備工事編」（国土交通大臣官庁官庁審判部監修）による。竣工写真はキャビ木版カラープリントによる写真を製本し、また、画像データを電子媒体で各1部提出すること。各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事的目的に付すとともに、労働災害保険及び第三者等への対人賠償、対物賠償についても補償する保険に加入し、その証書の写しを監督員に提出すること。また、本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。工事中に万一事故が発生した場合は、速やかに監督員に連絡すること。				4 電 灯 ・ コ ン セ ン ト 設 備	工事範囲及び説明	○天井内コロガシ ●電線管 (OPE ●OP ●VE ●FEP ●PF) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ●600V-EEF ※図・参考品番による ※図・参考品番による										
21	下請業者等の選定	工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出すること。 A3サイズ 2部数 (CADデータ共)						5 動 力 設 備	工事範囲及び説明	動力設備までの配管、配線とする。								
22	保険等	設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。								電気方式 施工方法 使用電線 機器仕様	工事範囲及び説明	既設拡声回路よりスピーカーまでの配管、配線、機器取付け、調整までとする。						
23	設計図の製本	工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出すること。 A3サイズ 2部数 (CADデータ共)										6 拡 声 設 備	工事範囲及び説明	○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○電子ボタン式 ○電子交換式 ○QP (市内COPケーブル) ○EBT (電子ボタン電話用ケーブル) ○EM-OPE (市内対ボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル) ○PE-V (管内ケーブル) ○EM-TIEF (屋内用電線) ※図・参考品番による				
24	軽微な変更	設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。				7 電 話 設 備	工事範囲及び説明	主装置 より子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。										
25	不当介入に関する通報制度	(1) 受注者等は暴行団員等による不当介入 (不当な要求又は業務の妨害) を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。 (2) 受注者等は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、受注者等は以下のことについて、下請負人 (再委託の協力者を含む) に対して十分に指導を行うものとする。 (3) 受注者等は暴行団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。						8 電 気 時 計 表 示 設 備	工事範囲及び説明	既設電話交換機より各子機への配管、配線、機器取付け、調整までとする。								
26	特殊な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。				9 情 報 表 示 設 備	工事範囲及び説明			○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○電子ボタン式 ○電子交換式 ○QP (市内COPケーブル) ○EBT (電子ボタン電話用ケーブル) ○EM-OPE (市内対ボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル) ○PE-V (管内ケーブル) ○EM-TIEF (屋内用電線) ※図・参考品番による								
27	各種検査合格書等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各1部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約書・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。						10 テ レ ビ 共 視 聴 設 備	工事範囲及び説明	既設端子盤より末端整合器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。								
28	建築工事との取合	各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口補強は建築工事とする。				11 自 動 火 災 報 知 設 備	工事範囲及び説明			既設自火報回路より末端感知器までの配管配線器具取付け、調整までとする。 資格者による責任施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。 なお、図示なくも建築構造上取付けの必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取り付ける。								
29	シンナー等の保管	シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重にいたし盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。						12 ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	工事範囲及び説明	受受信 ○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック EM-UTPO.5-4P (CAT-5e) ○屋外用EM-UTPO.5-4P (CAT-5e)								
30	火気の管理	喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。				13 防 火 自 警 報 設 備	工事範囲及び説明			運動制御盤 より末端感知器・自閉器具までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。								
31	過積載防止の措置	受注者等は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。						1 高 圧 受 電 設 備	高圧受電ケーブルの取替	○3相3線式6.600V ○3相3線式210V ○単相3線式210/105V ●地中 ●架空 ○6kV CV ●6kV EM-CET ○600V EM-OE ○600V EM-CET ○600V EM-IE ○OE ODV ●要 ●不要 ●完成検査前に主任技術者の竣工検査を受け合格すること。 (測定記録書提出)								
32	騒音振動の防止	受注者等は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程 (平成13年 国土交通省告示第487号)」に基づき指定された建設機械 (97レベル) を使用すること。 受注者等は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員への旨報告すること。 パリアフリー化にあたっては、「だれもが住みかとなる福祉施設のマチづくり条例」を遵守すること。				2 受 電 機 設 備	工事範囲及び説明			○屋外型キュービクル ○屋外型キュービクル ○フレーム組立開放型 ○高圧配電盤 ○低圧配電盤 ○コンデンサ盤 別紙による。 ○KIP ○PDC ○銅棒 ○電力ヒューズ (各1組) ○フック棒 ○完成検査前に主任技術者の竣工検査を受け合格すること。								
33	不法無線局の排除	工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。 工事施工中において、適宜中間技術検査を実施する。						電 気 方 式	1次側 3相3線式6.600V 2次側 3相3線式210V、単相3線式210/105V									
34	ユニバーサルデザイン	イ 機器の据付、配管支持については、「建築設備耐震設計施工指針」を参考とする。				形 電 盤 変 圧 器 母 線 付 属 品 ・ 予 備 品												
35	別途工事との連絡協議	ロ 当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものも本工事とする。 また、撤去工事は特に既設配管の先行を確認の上、安全に処理する。																
36	申請等	本工事における官公庁の各検査および完了にかかる消防法等、すべての法的検査は受注者等にて行うものとする。また、その費用 (手数料) は一切受注負担とする。																
37	仮設電力料金等	本工事に必要な仮設電力、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料金等は引渡し日まで原則として請負人の負担とする。																
38	既設設備関係	施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既設施設の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。																
39	公害対策	工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。																
40	技術検査	工事施工中において、適宜中間技術検査を実施する。																
41	地上上の留意事項等	イ 機器の据付、配管支持については、「建築設備耐震設計施工指針」を参考とする。																
42	長浜市週休2日取組指定工事の実施	本工事は、発注者が工事着手日 (現場に継続的に常駐した最初の日) から工事完了日 (工事請負契約の履行した通知である工事完了届書を提出した日) までのうち、非対象期間を除いた期間において全ての月で4週8日以上 (の現場閉鎖 (現場休息) を行ったと認められる状態) 取り組むことを指定する週休2日取組指定型工事である。費用の計上等の運用にあたっては、「長浜市週休2日取組指定型工事実施要領 (建築系工事版)」により行う。 ※ 適用する ・適用しない (月単位の週休2日)																

種目	適用	項目	特記事項			
3 電 灯 動 力 幹 線 設 備	工事範囲及び説明	幹線用配管配線設備の新設 一式				
		電気方式 分電盤 施工方法 使用電線	○3相3線式210V ●単相3線式210/105V ※図・参考品番による ●ケーブル ●電線管 (OPE OPE OPF ●VE ●FEP) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ○600V-CET			
		工事範囲及び説明	○天井内コロガシ ●電線管 (OPE ●OP ●VE ●FEP ●PF) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ●600V-EEF ※図・参考品番による ※図・参考品番による			
		動力設備までの配管、配線とする。	○3相3線式210V ○ケーブル ○電線 ○600V EM-OE ○600V EM-IE ○600V EM-CET ○600V VWR			
4 電 灯 ・ コ ン セ ン ト 設 備	工事範囲及び説明	○天井内コロガシ ●電線管 (OPE ●OP ●VE ●FEP ●PF) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ●600V-EEF ※図・参考品番による ※図・参考品番による				
		動力設備までの配管、配線とする。	○3相3線式210V ○ケーブル ○電線 ○600V EM-OE ○600V EM-IE ○600V EM-CET ○600V VWR			
5 動 力 設 備	工事範囲及び説明	動力設備までの配管、配線とする。				
		電気方式 施工方法 使用電線	○3相3線式210V ○ケーブル ○電線 ○600V EM-OE ○600V EM-IE ○600V EM-CET ○600V VWR			
6 拡 声 設 備	工事範囲及び説明	既設拡声回路よりスピーカーまでの配管、配線、機器取付け、調整までとする。				
		施工方法 使用電線 機器仕様	○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○電子ボタン式 ○電子交換式 ○QP (市内COPケーブル) ○EBT (電子ボタン電話用ケーブル) ○EM-OPE (市内対ボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル) ○PE-V (管内ケーブル) ○EM-TIEF (屋内用電線) ※図・参考品番による			
7 電 話 設 備	工事範囲及び説明	主装置 より子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。				
		施工方法 形式 使用電線	○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○電子ボタン式 ○電子交換式 ○QP (市内COPケーブル) ○EBT (電子ボタン電話用ケーブル) ○EM-OPE (市内対ボリエチレン絶縁耐燃性ボリエチレンシースケーブル) ○PE-V (管内ケーブル) ○EM-TIEF (屋内用電線) ※図・参考品番による			
8 電 気 時 計 表 示 設 備	工事範囲及び説明	既設電話交換機より各子機への配管、配線、機器取付け、調整までとする。				
		施工方法 形式 使用電線 機器仕様	EM-IE 芯ビニルコード			
9 情 報 表 示 設 備	工事範囲及び説明	主装置 より子機に至る配管、配線、機器取付け、調整までとする。				
		施工方法 使用電線	○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○EM-UTPO.5-4P (CAT-5e) ○屋外用EM-UTPO.5-4P (CAT-5e)			
10 テ レ ビ 共 視 聴 設 備	工事範囲及び説明	既設端子盤より末端整合器までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。				
		施工方法 使用電線 機器仕様 電圧強度測定	○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○EM-S-5GF ○EM-S-7GF ※図・参考品番による 施工前に測定し、各局毎の電圧強度測定値を提出する。 アンテナ位置は建築意匠、強度等を考え監督職員と協議する。			
11 自 動 火 災 報 知 設 備	工事範囲及び説明	既設自火報回路より末端感知器までの配管配線器具取付け、調整までとする。 資格者による責任施工とし、所轄消防署と協議の上、完全に施工する。 なお、図示なくも建築構造上取付けの必要が生じたときは、監督職員の指示に従い本工事において取り付ける。				
		施工方法 使用電線 機器仕様	○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック ○IV OHIV OHP OAE ※図・参考品番による			
12 ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	工事範囲及び説明	受受信 ○天井内コロガシ ○電線管 (OPE OPF) ○ケーブルラック EM-UTPO.5-4P (CAT-5e) ○屋外用EM-UTPO.5-4P (CAT-5e)				
		施工方法 使用電線 機器仕様	EM-IE EM-AE EM-OPEE			
13 防 火 自 警 報 設 備	工事範囲及び説明	運動制御盤 より末端感知器・自閉器具までの配管、配線、器具取付け、調整までとする。 なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。				
		施工方法 使用電線 機器仕様	EM-IE HIV HP EM-AE			

種目	適用	項目	特記事項			
14 選 雷 設 備	工事範囲及び説明	突針取付けより接地埋設までの配管配線接地測定を行う。 なお、メーカーの責任施工とし、建築工事とよく打合せの上、施工する。 JISA201に準じて施工する。				
		施工方法 突針 試験用端子 使用導線	JISA201に準じて施工する。			
		工事範囲及び説明	機器据付、試運転調整、各種届出、試験までとする。			
		施工方法 定用電線 機器仕様 配管材料	容量 kVA 電圧 200/220 V 周波数 60Hz 別記仕様書による。			
15 自 家 免 電 機 設 備	工事範囲及び説明	機器据付、試運転調整、各種届出、試験までとする。				
		施工方法 定用電線 機器仕様 配管材料	容量 kVA 電圧 200/220 V 周波数 60Hz 別記仕様書による。			
16 駐 車 場 管 制 設 備	工事範囲及び説明	構内駐車場管制設備の配線、機器取付け、調整までとする。				
		施工方法 使用電線	○天井内コロガシ ●電線管 (OPE ●PF ●FEP) ○ケーブルラック ●600V-IE ●600V-OE ●600V-CET ●600V-EEF			
使用機材製造者指定						
本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用すること。ただし、同等品を使用する場合には、監督員の承諾を得て使用のこと。						
適用	機材名	製造業者				
※	電 線 名	JIS規格等適合品製造者				
※	ケ ー ブ ル	JIS規格等適合品製造者				
※	電 線 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	ビニル電線管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	P F 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	F E P 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	電 線 名	JIS規格等適合品製造者				
※	ケ ー ブ ル	JIS規格等適合品製造者				
※	電 線 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	ビニル電線管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	P F 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	F E P 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	電 線 名	JIS規格等適合品製造者				
※	ケ ー ブ ル	JIS規格等適合品製造者				
※	電 線 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	ビニル電線管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	P F 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	F E P 管	JIS規格等適合品製造者				
※	同 上 付 属 品	JIS規格等適合品製造者				
※	電 線 名	JIS規格等適合品製造者				
※	ケ ー ブ ル	JIS規格等適合品製造者				
※</						



低圧電灯盤 No. 1

No.	名称	容量	開閉器	幹線
L11	LT-H	kW	MCCB 3P 400AF/ 250AT	
L12	DGR	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	
L13	LGR	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	
L14	所内電源	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	
L15	デマンド監視	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	

低圧電灯盤 No. 2

No.	名称	容量	開閉器	幹線
L21	LMT-1	kW	MCCB 3P 225AF/ 200AT	
L22	LMT-2	kW	MCCB 3P 225AF/ 225AT	
L23	L-3	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	
L24	車庫	kW	MCCB 3P 50AF/ 40AT	
L25	LM-B	kW	MCCB 3P 50AF/ 30AT	
L26	予備	kW	MCCB 3P 100AF/ 60AT	
L27	予備	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	

低圧動力盤 No. 1

No.	名称	容量	開閉器	幹線
L31	調光盤	kW	MCCB 4P 600AF/ 500AT	

低圧動力盤 No. 2

No.	名称	容量	開閉器	幹線
M11	LMT-1	kW	MCCB 3P 50AF/ 50AT	
M12	LMT-2	kW	MCCB 3P 400AF/ 350AT	
M13	LM-B	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	
M14	AH-1	kW	MCCB 3P 400AF/ 300AT	
M15	AH-2	kW	MCCB 3P 225AF/ 225AT	
M16	M-A	kW	MCCB 3P 225AF/ 150AT	
M17	車庫	kW	MCCB 3P 50AF/ 30AT	
M18	予備	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	

低圧動力盤 No. 3

No.	名称	容量	開閉器	幹線
M21	CR-1-1	kW	MCCB 3P 600AF/ 500AT	
M22	CR-1-2	kW	MCCB 3P 600AF/ 500AT	
M23	非常用発電機	kW	MCCB 3P 225AF/ 125AT	

非常動力盤 No. 1

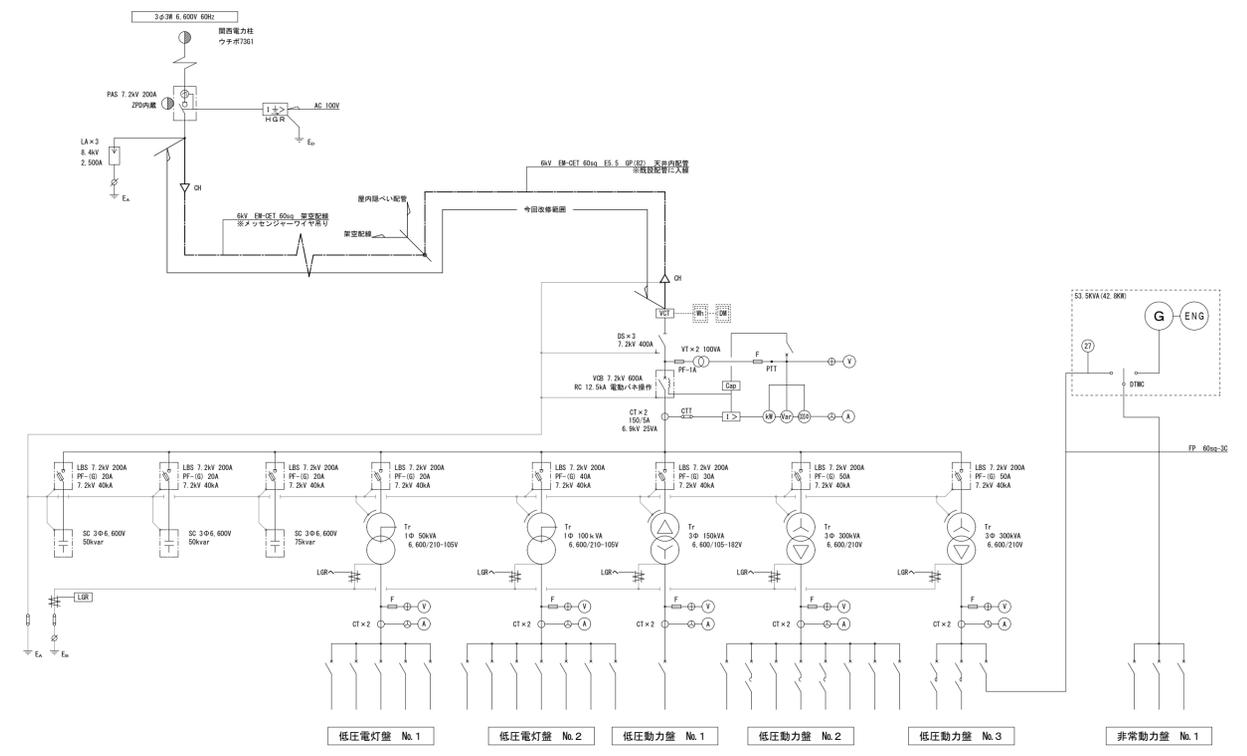
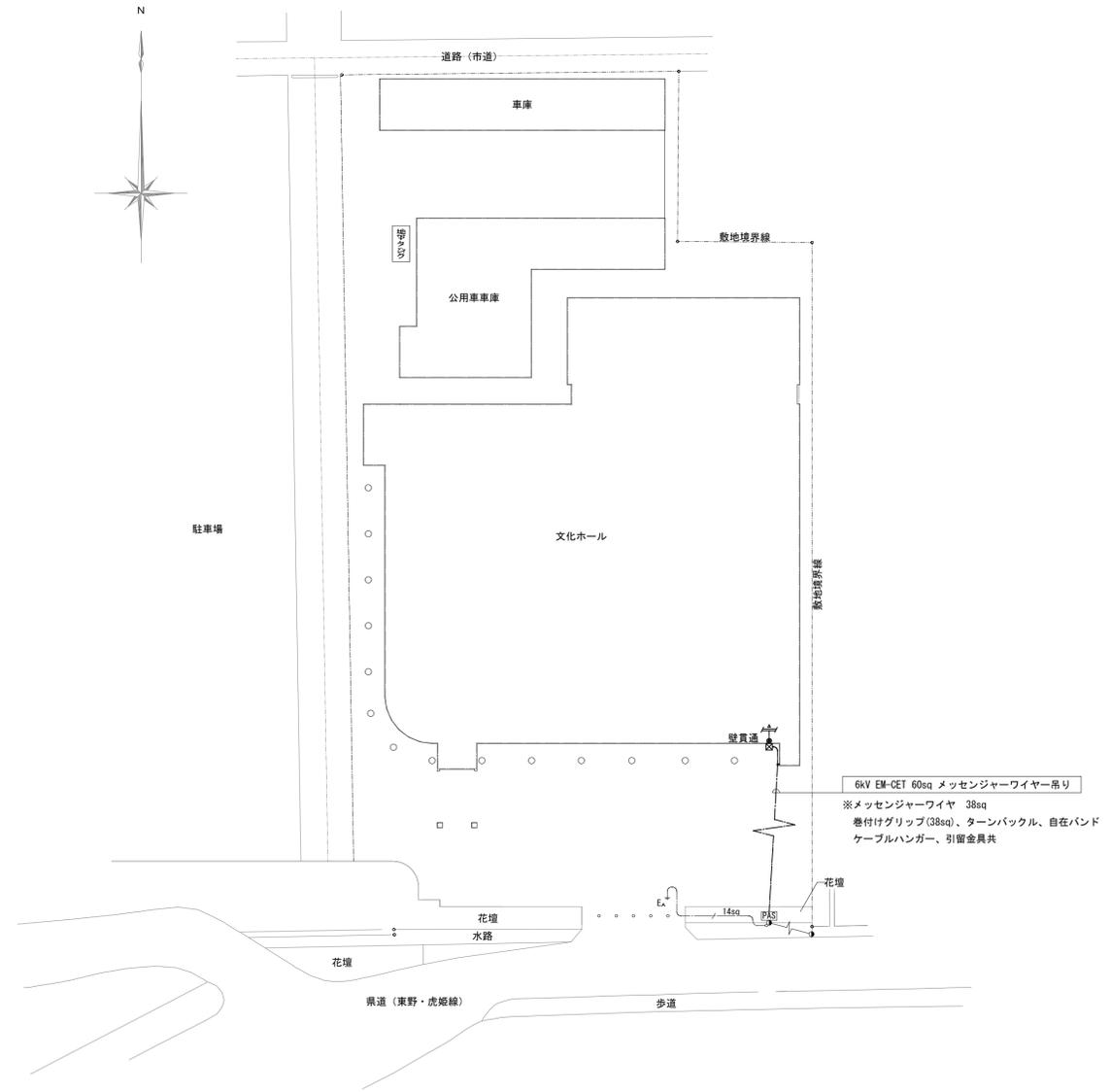
No.	名称	容量	開閉器	幹線
M21	消火ポンプ	kW	MCCB 3P 100AF/ 75AT	
M22	排煙ファン	kW	MCCB 3P 100AF/ 60AT	
M23	MC操作電源	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	



TITLE
浅井文化ホール高圧受電ケーブル改修工事

DRAWING NAME
配置図・単線結線図(現況・撤去)

No. 14042410
2
4



低圧電灯盤 No.1

No.	名称	容量	開閉器	幹線
L11	LT-H	kW	MCCB 3P 400AF/ 250AT	
L12	DGR	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	
L13	LGR	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	
L14	所内電源	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	
L15	デマンド監視	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	

低圧電灯盤 No.2

No.	名称	容量	開閉器	幹線
L21	LMT-1	kW	MCCB 3P 225AF/ 200AT	
L22	LMT-2	kW	MCCB 3P 225AF/ 225AT	
L23	L-3	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	
L24	車庫	kW	MCCB 3P 50AF/ 40AT	
L25	LM-B	kW	MCCB 3P 50AF/ 30AT	
L26	予備	kW	MCCB 3P 100AF/ 60AT	
L27	予備	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	

低圧動力盤 No.1

No.	名称	容量	開閉器	幹線
L31	調光盤	kW	MCCB 4P 600AF/ 500AT	

低圧動力盤 No.2

No.	名称	容量	開閉器	幹線
M11	LMT-1	kW	MCCB 3P 50AF/ 50AT	
M12	LMT-2	kW	MCCB 3P 400AF/ 350AT	
M13	LM-B	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	
M14	AH-1	kW	MCCB 3P 400AF/ 300AT	
M15	AH-2	kW	MCCB 3P 225AF/ 225AT	
M16	M-A	kW	MCCB 3P 225AF/ 150AT	
M17	車庫	kW	MCCB 3P 50AF/ 30AT	
M18	予備	kW	MCCB 3P 100AF/ 100AT	

低圧動力盤 No.3

No.	名称	容量	開閉器	幹線
M21	CR-1-1	kW	MCCB 3P 600AF/ 500AT	
M22	CR-1-2	kW	MCCB 3P 600AF/ 500AT	
M23	非常用発電機	kW	MCCB 3P 225AF/ 125AT	

非常動力盤 No.1

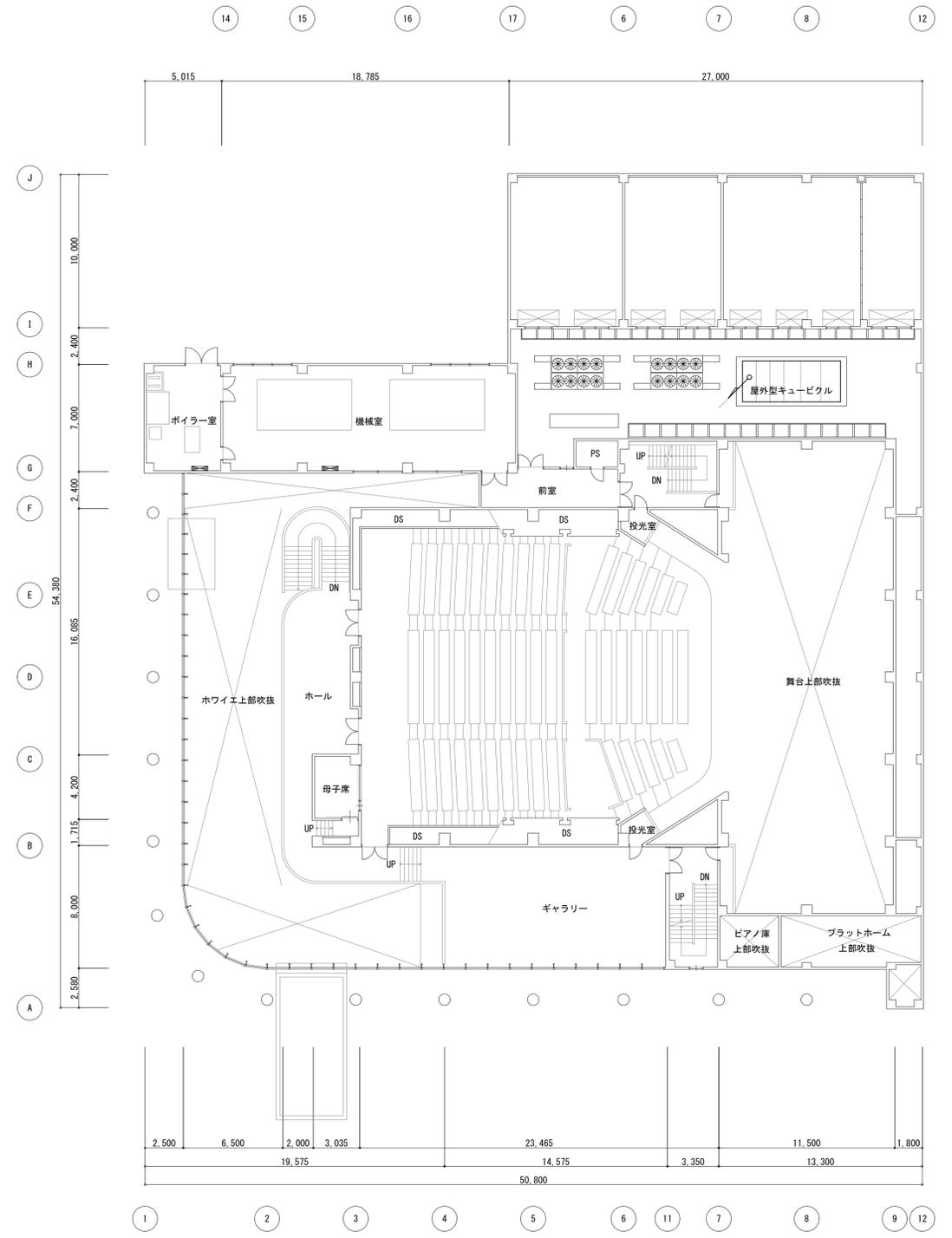
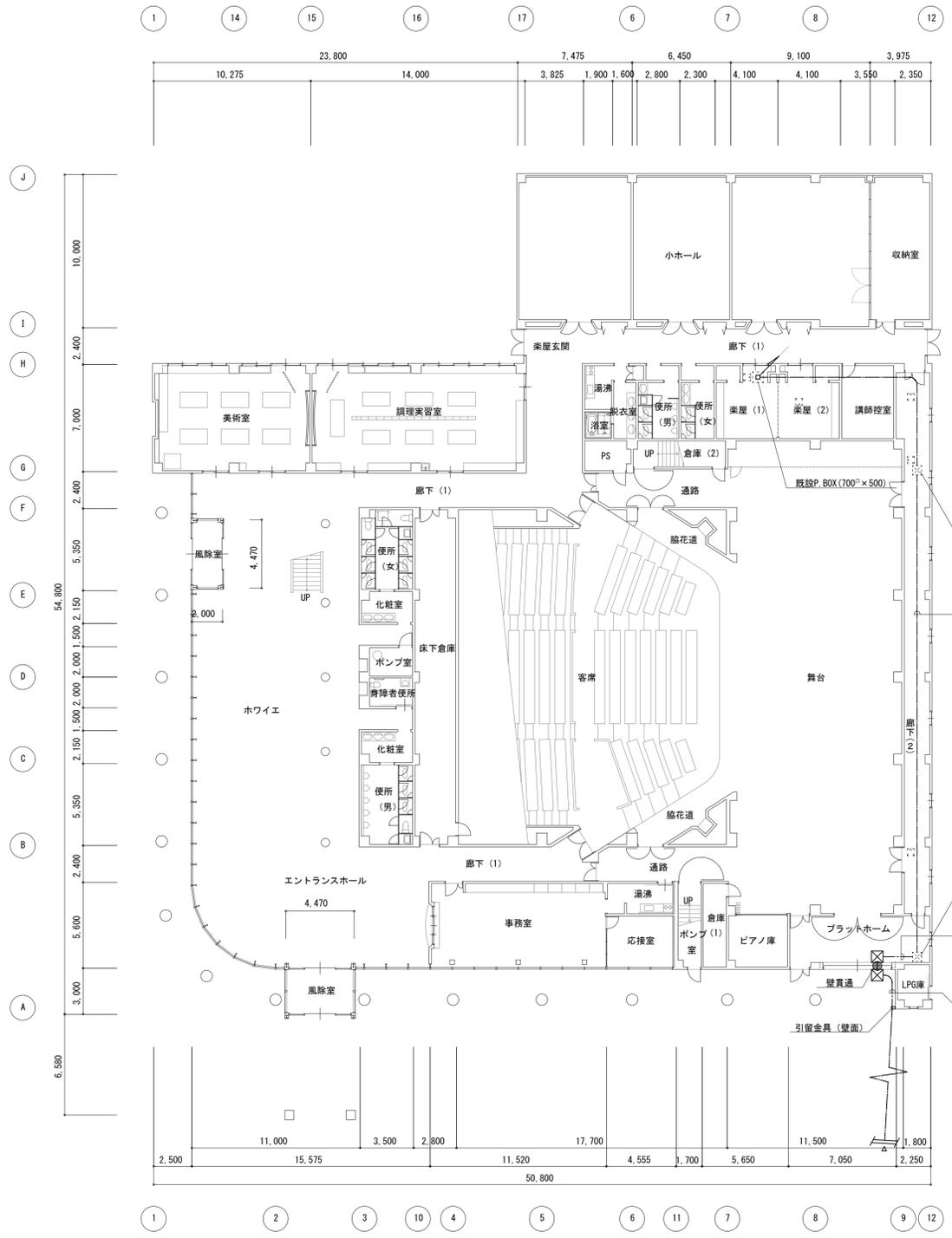
No.	名称	容量	開閉器	幹線
M21	消火ポンプ	kW	MCCB 3P 100AF/ 75AT	
M22	排煙ファン	kW	MCCB 3P 100AF/ 60AT	
M23	M C操作電源	kW	MCCB 2P 50AF/ 20AT	

注意事項
 ・請負人は工事着手前に施設管理者及び電気主任技術者に対し工事内容及び工程について説明を行い、その指示に従い施工すること。
 ・本工事に伴う電力会社、電気主任技術者との連絡調整、申請および費用は請負人の負担とする。
 ・完成前に請負人の費用負担により主任技術者の竣工検査を受けし合格すること。
 なお、試験成績書も提出すること。
 ・電気設備保安管理委託先 宮部電気設備管理事務所 TEL 0749-73-2737



TITLE
 浅井文化ホール高圧受電ケーブル改修工事

DRAWING NAME
 配置図・単線結線図(新設・改修)
 No. 14042410
 E 3/4



6kV CVT 60sq E5.5 抜取り・地分 GP (82) は残置
 6kV EM-CET 60sq E5.5 既設GP (82) に入線

既設P_BOX (600²×600)

既設P_BOX (600²×600)に新設電線管 (GP82) 接続

6kV EM-CET 60sq E5.5 GP (82) 隠ぺい

新設 P_BOX
 500×500×500 SS ×1
 500×500×500 SUS WP ×1
 ボンディング共

6kV EM-CET 60sq GP (82) 露出配管 (塗装共)



TITLE
 浅井文化ホール高圧受電ケーブル改修工事

DRAWING NAME
 各階平面図

No. 14042410
 E 4/4